

平成 27 年 9 月 1 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮 崎 俊 郎
(コード番号 6269 東証第1部)
問 合 せ 先 総務部長 小 林 晴 枝
(TEL. 03-5290-1200)

ブラジル沖合プレソルト層油田 Iracema Norte 鉱区向け FPSO チャーターサービスを開始

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮崎俊郎)は、ブラジルの国営石油会社である Petróleo Brasileiro S.A. (以下「ペトロbras社」)より、同社 65%子会社の Tupi B.V.社を通じて受注した FPSO (Floating Production, Storage & Offloading System:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)の建造を進めてきましたが、今般当初の予定より約 5 ヶ月早く建造・据付工事を完了し、7 月 31 日にブラジル沖でチャーターサービスを開始しました。

"FPSO Cidade de Itaguaí MV26"と命名された本 FPSO は、当社の関連会社が保有し、ペトロbras社に対する 20 年のチャーターサービス(リース及び運転・保守点検等のオペレーション)に供されます。チャーターサービスの開始により、本年度以降の当社の収益基盤は一層拡大することが期待されます。

本 FPSO は、ペトロbras社(65%)、BG グループ(25%)、Petrogal Brazil S.A. - Galp Energia(7%)、China Petrochemical Corporation(3%)の 4 社コンソーシアムが保有する Iracema Norte(イラセマ・ノルテ)鉱区の開発に用いられます。ブラジル・リオデジャネイロの沖合約 240km に位置する Iracema Norte 鉱区は、海底下約 5,000m のプレソルト(岩塩層直下の層)にある海底油田の一部です。

日量 15 万バレルの原油生産能力、日量 280 百万立方フィートのガス生産能力及び約 160 万バレルの原油貯蔵能力を持つ本 FPSO は、当社の米国子会社である SOFEC 社が設計する Spread Mooring(スプレッド・ムアリング)と呼ばれる係留方法で、水深約 2,240m の海上に係留されます。

本 FPSO は、当社にとって 10 基目のブラジル向けプロジェクトとなります。また、当社の関連会社が保有しブラジル沖合で稼働中であるペトロbras社 Lula(旧 Tupi)鉱区向け FPSO Cidade de Angra dos Reis MV22、Sapinhoá(旧 Guará)鉱区向け FPSO Cidade de São Paulo MV23 及び Iracema Sul(旧 Cernambi Sul)鉱区向け FPSO Cidade de Mangaratiba MV24 に続き、当社はプレソルト層油田開発用として 4 基目の FPSO のチャーターサービスを開始したことになります。



FPSO Cidade de Itaguaí MV26

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発(MODEC)は、海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油・ガス生産設備の建造、チャーター、オペレーション&メンテナンスサービスを提供する日本で唯一の企業です。

<http://www.modec.com/jp>